

おしゃべり広場 2015

～聞きたい！大学受験のこと～

毎年好評の「おしゃべり広場」、今年度は11月21日土曜日に国際高校大会議室にて行いました。第8回目の今回は「大学受験」に焦点を当て、大学受験形態の異なる先輩方をお迎えし、受験にまつわる様々な体験談をお話いただきました。

参加者は在校生20名、保護者61名。先輩方の貴重な経験やアドバイスを伺うことができた有意義な2時間でした。



■各自の体験談 ～ 質疑応答

ゲストは、影山先生（19期生、本校英語教諭）、尾崎さん（21期生、大学4年生）・権さん（23期生、大学2年生）・中山さん（23期生、大学2年生）の4名で、司会進行は富永先生（10期生・本校英語教諭）。

「進路の決定理由やその時期について」「大学受験の勉強法や苦しかった経験は？」「塾や予備校について」「家族との関係」等の質問に対してそれぞれ丁寧にお答え下さいました。

行事・部活動への参加や選択した授業についての質問には、「体育祭で幹部をやりたかったので早目に受験勉強に取り掛かった」「国際高校の英語授業をしっかりとやっていたら受験勉強に役立つ」等々、国際高校での体験を交えた具体的な回答で、在校生にも保護者にも大いに参考になり励まされる内容。また、富永先生の温かなユーモアあふれる進行は時に笑いを呼び、ゲストと参加者の距離を和やかに縮めてくださり、会場内はまさに「国際愛」に満ち溢れた空気となりました。

質疑応答では、保護者からの様々な質問に対して、それぞれの確に誠実にお答えいただき、ゲストの皆様が国際高校で積極的に学んで発言していた姿勢、また大学進学後の充実した学生生活を伺う事が出来ました。



■参加者からのアンケートより

～興味深かったこと～（回答の一部より抜粋）

- ・大学を決めたきっかけは「やりたい分野」がもとだということ
- ・受験校を選ぶに当たって、文化祭やオープンキャンパスだけでなく普段の様子を見に行くと、通っているイメージが湧きやすくてよいというお話
- ・国際高校を見学に来た際に「ここを受験する！」と決めた時のような「ビビビ！」の感覚で、行きたい大学は決まらないし、決められないということ（富永先生の「国際高校への志望決定へのくだり」のコメントは参加者一同納得の爆笑が起きた瞬間でした）
- ・親との距離感、保護者にどうあって欲しいかということ

■ゲストの皆様より一言メッセージ

影山先生

- ☒ 生徒の皆さんへ
やりたい事、興味のある分野は必ず見つかります。
見つかった時に困らないよう、学校の授業をしっかりと学び、不安にならない事が大切です。
親に感謝することを忘れないで下さい。
- ☒ 保護者の皆さんへ
私は放任主義に感謝していました。しかしいざという時には家族の支えが大変心強いです。受験時は本人が思っているより相当ストレスを感じていて、気づかぬうちに体力が弱まります。



尾崎さん

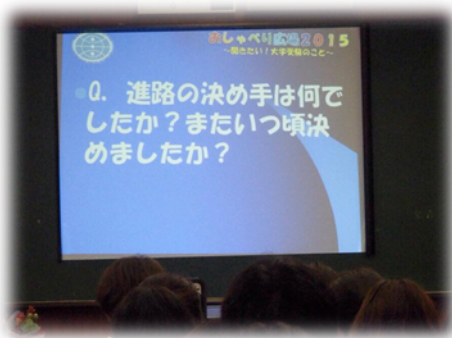
- ☒ 生徒の皆さんへ
目の前にある事に全力を尽くすと見えてくるものがあります。やりたい事とやらねばならない事の優先順位を意識して、次にやることを決めていました。
- ☒ 保護者の皆さんへ
細かく言わず子供をしっかりと見てあげる事、辛抱強く待つてあげる事をお願いします。
姉弟まったくタイプが違うので、うちの親はそれぞれ言い方を変えて促していました。

権さん

- ☒ 生徒の皆さんへ
皆さん、過去やって来た事は未来に繋がります。自分を信じて今を楽しんで下さい。
- ☒ 保護者の皆さんへ
大学受験はミラクルが起きます。子供に声をかけにくい時は、置き手紙をご用意下さい。

中山さん

- ☒ 生徒の皆さんへ
後悔しないように全力を出して下さい。一度しかない高校生活の今を満喫し、自分の目標を決めたら諦めずに最後まで貫いて下さい。
- ☒ 保護者の皆さんへ
放任は受験の成功だと思います、しかし心配な部分は必ず声掛けをして尋ねて下さい。
私は親が気分転換に外に連れ出してくれた事を感謝しています。



【最後に】

ご多忙の中お話を受けて下さいましたゲストの皆様、企画段階からゲストの皆様とのコンタクト、進行までお引き受け下さいました富永先生、設営等でお世話になりました池田先生、そしておしゃべり広場にご参加下さいました皆様、この場をお借りして文化委員一同より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。